

平成30年度 食育に関する取り組み一覧

★調査方法★ (1) 主に対象となる目標1項目に◎ (2) その他に対象になる項目には○ (複数回答可)

事業名	対象年代	基本目標1 食を通じて豊かな身体をつくろう		基本目標2 食を通じて豊かな心を育てよう		基本目標3 食を通じて健康にやさしい生活をしよう		基本目標4 食育を広めよう		今後の課題・問題点	
		増進 加日 朝食 を食 べる 人の 数	自分 の食 生活 がよ いと 思 う 人 の 増 加	自分 の身 体加 重を 知 る 人 の 増 加	他人 の食 生活 がよ いと 思 う 人 の 増 加	食 の 楽し み が 増 加 し て 回 答 す る 人 の 増 加	食 事 の 楽し み が 増 加 し て 回 答 す る 人 の 増 加	食 の 楽し み が 増 加 し て 回 答 す る 人 の 増 加	食 の 楽し み が 増 加 し て 回 答 す る 人 の 増 加		食 の 楽し み が 増 加 し て 回 答 す る 人 の 増 加
味岡小学校 バケツ稲作体験	○ 小学校 児童									◎	お米の大切さ食と農に関する関心を高めること、働く喜びを感ずることを目的とし新たに。
三ツ瀨小学校 稲作農業体験	○ 小学校 児童									◎	お米の大切さ食と農に関する関心を高めること、働く喜びを感ずることを目的とし、地域の農家の方の参加もあり今後も継続
三ツ瀨小学校 野菜栽培体験	○ 小学校 児童									◎	野菜の苗(ナス、ピーマン、ミニトマト、オクラ)を調達配布し栽培を学ぶ。(先生への農業に関する指導も必要)
北里小学校 野菜栽培体験	○ 小学校 児童									◎	野菜の苗(ナス、ピーマン、ミニトマト、オクラ)を調達配布し栽培を学ぶ。(先生への農業に関する指導も必要)
米野小学校 野菜栽培体験	○ 小学校 児童									◎	野菜の苗(ナス、ピーマン、ミニトマト、オクラ、えだまめ、きゅうり)を調達配布し栽培を学ぶ。(先生への農業に関する指導も必要)
陶小学校 野菜栽培体験	○ 小学校 児童									◎	野菜の苗(ピーマン、ミニトマト、オクラ、ナス、きゅうり)を調達配布し栽培を学ぶ。(先生への農業に関する指導も必要)
篠岡小学校 桃収穫体験	○ 小学校 児童									◎	JAR研修果樹園で生産する苦枈を教える。そして収穫する喜びを体験する。
陶小学校 桃収穫体験	○ 小学校 児童									◎	農家が桃を育てる苦枈を学び、旬の時期を教える。
ひまわり幼稚園 サツマイモ収穫体験	○ 幼稚園 児童									◎	幼いうちから土に親しみ、作物を収穫する喜びを体験すること
本庄小学校 大豆栽培と豆腐づくり体験	○ 小学校 児童									◎	大豆の栽培とJA女性部との豆腐づくり体験(収穫の喜びと豆腐がでる苦枈を学ぶ)
篠岡小学校 大豆栽培と豆腐づくり体験	○ 小学校 児童									◎	大豆の栽培とJA女性部との豆腐づくり体験(収穫の喜びと豆腐がでる苦枈を学ぶ)
小牧中学校 桃調理実習	○ 中学校 児童									◎	家庭科部の生徒が地元小牧の桃を使って調理実習

【その他の課題・問題点】 食育体験は、農産物の作付と収穫を体験することが多いが、本来は、栽培管理が大切である。なかなか管理までできないが、農産物の旬や時期を学び、必要な時期の観察記録をする中で作物の生育勉強等になる。また、関連する観察記録やクイズ用紙等を用いて食育推進を深めるとともに、地域の繋がりをもち協力展開を行う。

平成30年度 食育に関する取り組み一覧

★調査方法★ (1) 主に対象となる目標1項目に◎ (2) その他に対象になる項目には○ (複数回答可)

【報告者名】小中学校校長会 伊藤 純子

【E-mail】

事業名	対象年代		基本目標1 食を通じて豊かな身体をつくらう			基本目標2 食を通じて豊かな心を育てよう			基本目標3 食を通じて健康にやさい生活をしよう			基本目標4 食育を広めよう		今後の課題・問題点
	園	小中学生	増倍 朝食を 食べる 人の 増加	増倍 朝食を 食べる 人の 増加	増倍 朝食を 食べる 人の 増加	増倍 朝食を 食べる 人の 増加	増倍 朝食を 食べる 人の 増加	増倍 朝食を 食べる 人の 増加	増倍 朝食を 食べる 人の 増加	増倍 朝食を 食べる 人の 増加	増倍 朝食を 食べる 人の 増加	増倍 朝食を 食べる 人の 増加	増倍 朝食を 食べる 人の 増加	
学校教育における健康教育・食育指導		○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	今後の課題・問題点 実施できる学校に限られている。
学校における農業体験の推進		○												
学校給食を通じたコミュニケーションの促進		○										○		
学校給食を通じた食育活動の普及啓発		○										○	◎	
PTA・他機関との連携		○										○	○	

【その他の課題・問題点】

・栄養教諭や学校栄養職員による食育指導は、指導回数等に学校差があった。年間計画の中にあらかじめ位置づけておくとうよい。

平成30年度 食育に関する取り組み一覧

★調査方法★ (1) 主に対象となる目標1項目に◎ (2) その他に対象になる項目には○ (複数回答可)

事業名	対象年代			基本目標1 食を通じて豊かな身体をつくらう		基本目標2 食を通じて豊かな心を育てよう		基本目標3 食を通じて健康にやさしい生活しよう		基本目標4 食育を広めよう		今後の課題・問題点
	園児	小中学生	一般市民	増進 加日朝食を食する人の	思 う分 人の食 増進 加活 がよ いと	目 の分 人の 増進 加量 を知 つ	目 の分 人の 増進 加量 を知 つ	目 の分 人の 増進 加量 を知 つ	目 の分 人の 増進 加量 を知 つ	目 の分 人の 増進 加量 を知 つ	目 の分 人の 増進 加量 を知 つ	
小学校家庭科調理補助 (大城小学校)	◎			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	調理の楽しさ、基本を学んでもらう。成功体験により食に興味をもってもらう。
おやこ食育教室	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	食べ物を選ぶ力、味がわかる力を養い子供の頃からの減塩対策と野菜への関心を高める。
がん撲滅地区健康展 (中下・味岡) 2回			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	1日に必要な野菜の量を実際に手に取り知り知ってもらう。
生涯学習太クッキング			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	低栄養、ロコモ、認知症予防を加えた食生活改善活動、積極的な乳製品摂取を勧める
歯ピカピクへの参加	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	自分が食べた野菜の量を知り野菜への関心を高める。簡単朝食、おやつレシピ提供
農業祭への参加	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	自分が食べた野菜の量や野菜350gの量を知り関心を高める。簡単朝食はレシピ提供
ヘルスサポーター21事業 (北里・麻時中学校)		◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	自分の為、家族の為に食べ物を選び調理できる力をつける。
介護予防食教室 (シニアカフェ低栄養予防)			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	健康作りの基本を知り、生涯健康でいきいきと暮らす食習慣を身に付けてもらう。
みそ汁塩分調査(家庭訪問)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	塩分濃度、野菜摂取の簡易調査実施し、減塩と野菜をもつ一皿食へもらう。
パパママ教室にて汁物塩分調査 (6回/年)			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	塩分濃度、野菜摂取の簡易調査実施
広報こまき「いきいきレシピ」掲載 (6回/年)			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	一般家庭にある調味料を使った簡単塩分控えめヘルシーレシピ
ふれあいサロン・いきいきサロン・ 味岡児童館事業参加	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	サロン会食食レシピ提供、調理補助、高齢者との調理実習、味岡児童館伝承料理教室

【その他の課題・問題点】

会員数減少と会員の高齢化。新会員4人加入されるも活動継続が困難で退会された会員多数あり会員の増加には至らなかった。家族の介護や、自身の療養などで活動休会の会員などあり、30代40代50代の会員増加をはかりたい

平成30年度 食育に関する取り組み一覧

★調査方法★ (1) 主に対象となる目標1項目に◎ (2) その他に対象になる項目には○ (複数回答可)

【報告者名】 こまき環境市民会議 倉知 日出美

【E-mail】

事業名	対象年代		基本目標1 食を通じて健康な身体をつくらう			基本目標2 食を通じて豊かな心を育てよう			基本目標3 食を通じて環境にやさしい生活しよう		基本目標4 食育を加めよう		今後の課題・問題点
	園児	小中学生	一般市民	増進項目	目標	達成状況	実践項目	実践状況	実践項目	実践状況	実践項目	実践状況	
(例) 第3次小牧市食育推進計画 PR版の配布			◎								◎	◎	
廃食用油の回収			○									◎	廃食用油の回収活動自体を知らない人がいる。
菜の花プロジェクト			○		○							◎	年によって菜種の収穫量に差があるため、安定的な量の確保ができていない場合がある。

【その他の課題・問題点】

会員の高齢化により事業の拡大・充実が難しくなってきている。

平成30年度 食育に関する取り組み一覧

★調査方法★ (1) 主に対象となる目標1項目に◎ (2) その他に対象になる項目には○ (複数回答可)

【報告者名】小牧市生活改善実行グループ連絡研究会 小島 政子

【E-mail】

事業名	対象年代		基本目標1 食を通じて豊か/かなる身体をつくろう		基本目標2 食を通じて豊か/かなる心を育てよう		基本目標3 食を通じて健康にやさしい生活しよう		基本目標4 食育を広めよう		今後の課題・問題点
	国 民	小 中 校 生	増 加 日 増 加 の 人 の 数 の 増 加 を 促 す	思 い 込 み を 減 ら す	目 的 を 明 確 に し て 行 動 を 促 す	食 育 の 意 識 を 高 め る	食 育 の 意 識 を 高 め る	食 育 の 意 識 を 高 め る	食 育 の 意 識 を 高 め る	食 育 の 意 識 を 高 め る	
市民講座推進			◎					○	◎	○	広報の掲示に何か工夫を考える

【その他の課題・問題点】

平成30年度 食育に関する取り組み一覧

★調査方法★ (1) 主に対象となる目標1項目に◎ (2) その他に対象となる項目には○ (複数回答可)

【報告者名】 藤岡 富士江

【E-mail】

事業名	対象年代		基本目標1 食を通じて健康な身体をつくらう			基本目標2 食を通じて豊かな心育てよう			基本目標3 食を通じて運動にやさしい生活をしよう			基本目標4 食育を広めよう		今後の課題・問題点	
	園児	小学生	1歳未満	2歳未満	3歳未満	4歳未満	5歳未満	6歳未満	7歳未満	8歳未満	9歳未満	10歳未満	11歳未満		12歳未満
親子でチャレンジ(年4回)	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		
こころ健康クッキング(月1回)		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		
ジュニアセミナー(麻師市民センター)		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	小牧市食育応援団「きいろいろたんぽぽ」として対 応 7月 シフォンケーキ 9月 パンケーキ 10月 クッキーとチョコバー	
生活展にて、 食育活動の紹介と食育ゲーム	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		
こどもクッキング(ひらっとみなみ)		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	5月 おにぎらずとおみそ汁 9月 ドライカレーとコンソメスープ 12月 伊達巻きとアップルさんどん 2月 カップ寿司と母ミルクプリン	
「生活習慣病の予防と対策」講話		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		
「離乳食講座」(北郷児童館)		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		
あいち健康チャレンジ (春日井保健所主催 アピタル小牧にて)	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		

【その他の課題・問題点】

平成30年度 食育に関する取り組み一覧

★調査方法★ (1) 主に対象となる目標1項目に◎ (2) その他に対象になる項目には○ (複数回答可)

【報告者名】 こども未来部保育課 小牧市立本庄保育園 近藤江里子

【E-mail】

事業名	対象年代	基本目標1 食を通じて健康や心身の発達をつくらせよう		基本目標2 食を通じて豊かな心を育てよう		基本目標3 食を通じて健康や心身の発達をしよう		基本目標4 食を通じて心身の発達をしよう		今後の課題・問題点
		毎週加日朝食を食べる人の増加	毎週加日朝食を食べる人の増加	毎週加日朝食を食べる人の増加	毎週加日朝食を食べる人の増加	毎週加日朝食を食べる人の増加	毎週加日朝食を食べる人の増加	毎週加日朝食を食べる人の増加	毎週加日朝食を食べる人の増加	
食育指導 (食への意欲が持てるように、よく噛んで味わって食べることを知らせる)	◎ 小 中 校 生	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	毎日の給食の中で、食事の時間が楽しく食べる意欲やお腹が満たされる満足感を持つようになるように関わってきた。初めて口にする食材に戸惑つこともあがるが、大好きな先生と友だちと一緒に「〇〇」という野菜だよ、△△の畑にあっただね。」と〇〇ちゃんも食べるよ。」などと楽しく食べさせてみるように心がけた。苦手なものも少しずつ食べられるようになってきた。今後、も食べる意欲を大切に楽しい食事の時間にしていく。
野菜作り・皮むき体験	◎									実体験を通して新たな気付きや発見があり、それを運動会の遊戯や発表会の劇に繋げ、関心を深めることができた。今後も実体験からの気付きや発見、不思議さを大切にしていきたい。
調理員が園児に伝える	◎									調理員と子どもたちの「給食どうだった」「おいしかったよ」「これなあに」「〇〇だよ」というやりとりを通して、作る人への親しみや感謝の気持ちを持つようになるようになった。今後も続けていく。
給食展示	◎									保護者と子どもたちの会話のきっかけになり、「たくさん食べた」「今度、家でも作ろうか」と家庭へも繋がり、行事食のレシピを紹介するなどして、食への関心が深まっている。
給食試食会	◎									給食を食べただけだけでなく、味付けや量なども分かり、家庭でも作ってみようと思えるように働きかけた。園児数が増え難しい場合もあるが、工夫しながらやれるとよい。
クッキング	◎									クッキングをとおして作る楽しさや作ったものへの愛着などを感ずることができた。食の安全や衛生の課題はあるが、得るものも多いので工夫しながら取り組んでいきたい。

【その他の課題・問題点】

平成30年度 食育に関する取り組み一覧

★調査方法★ (1) 主に対象となる目標1項目に◎ (2) その他に対象になる項目には○ (複数回答可)

【報告者名】 環境対策課 若山 愛美

【E-mail】 kankyou@city.komaki.lg.jp

事業名	対象年代		基本目標1 食を通じて食やのちを身につけよう			基本目標2 食を通じて食やのちを育てよう			基本目標3 食を通じて環境にやさしい生活しよう			基本目標4 食育を広めよう		今後の課題・問題点
	園児	小中学生	一般市民	毎朝朝食を食べる人の増加	自分の食生活がよいと知る人の増加	自分の食生活がよいと知る人の増加	食生活がよいと知る人の増加	食生活がよいと知る人の増加	食生活がよいと知る人の増加	食生活がよいと知る人の増加	食生活がよいと知る人の増加	食生活がよいと知る人の増加	食生活がよいと知る人の増加	
(例) 第3次小牧市食育推進計画PR版の配布			◎									◎		
廃食用油の回収		○	○										◎	廃食用油の回収活動自体を知らない人がいる。
市民環境講座の開催			◎											全4回の講座の中の一つであるため、参加者が限られてしまう。
菜の花プロジェクト	○	○	○											年によって菜種の収穫量に差があるため、安定的な量の確保ができない場合がある。

【その他の課題・問題点】

食育に関する事業については、こまき環境市民会議の会員を中心に実施しているが、会員の減少及び高齢化により事業の拡大・充実が難しくなっている。

平成30年度 食育に関する取り組み一覧

★調査方法★ (1) 主に対象となる目標1項目に◎ (2) その他に対象になる項目には○ (複数回答可)

【報告者名】 学校教育課 野田幹広

【E-mail】 mikihiro-noda@komaki-aic.ed.jp

事業名	対象年代		基本目標1 食を通じて運動の励みをつくらう			基本目標2 食を通じて豊かな心を育てよう			基本目標3 食を通じて健康にやさしい生活をしよう			基本目標4 食育を広めよう		今後の課題・問題点	
	園 児	小 中 校 生	一 般 市 民	毎日	毎	毎	食	食	食	食	食	食	食		
				朝	日	週	が	事	事	事	事	事	事		事
学校教育における健康教育・食育指導		○		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
学校における農業体験の推進		○													
学校給食を通じたコミュニケーションの促進		○													
学校給食を通じた食育活動の普及啓発		○													
PTA・他機関との連携		○													

【その他の課題・問題点】

実施できる学校が限られている。

平成30年度 食育に関する取り組み一覧

★調査方法★ (1) 主に対象となる目標1項目に◎ (2) その他に対象になる項目には○ (複数回答可)

事業名	対象年代		基本目標1 食を通じて食やの健康をつくろう		基本目標2 食を通じて食の文化を育てよう		基本目標3 食を通じて食文化の発展をしよう		基本目標4 食育を広めよう		
	園児	小中学生	毎朝日 朝食を食べる人の増加	自分の食生活がよいこと の人の増加	週に1回以上の食生活の改善を知っている人の増加	食生活の改善がよいこと の人の増加	食生活の改善がよいこと の人の増加	食生活の改善がよいこと の人の増加	食育に関する知識を持っている人の増加	食育に関する知識を持っている人の増加	
(例) 第3次小牧市食育推進計画PR版の配布									◎	○	今後の課題・問題点
夏休み親子食講座	◎					◎					
小牧の伝統食講座						◎					

【その他の課題・問題点】
講座については年度によって内容が異なるため、定期的に食育に関する講座が開催されるとは限りません。そのため、食育推進計画の事業とすべきか検討が必ずや必要とされます。

平成30年度 食育に関する取り組み一覧

★調査方法★ (1) 主に対象となる目標1項目に◎ (2) その他に対象になる項目には○ (複数回答可)

【報告者名】 小牧市歯科医師会 佐々木 成高

【E-mail】 peare@ea.mbn.or.jp

事業名	対象年代		基本目標1 食を通じて健やかな身体をつくらう			基本目標2 食を通じて豊かな生活を築てよう			基本目標3 食を通じて健康にやさしい生活をしよう			基本目標4 食育を広めよう		今後の課題・問題点
	園児	小中学生	一般市民	毎朝朝食を食べる人の増加	自分の食生活がよいと実感する人の増加	自分の正しい体加増を知る人の増加	毎朝朝食を食べる人の増加	食事が楽しくなる人の増加	食生活が楽しいと回答する人の増加	いかに人の増加を促すか	食生活の向上	食生活の向上	食生活の向上	
歯の健康センター(歯ピカビック)開催	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	○	○	○	○	○	◎	参加者の増加対策
学校、保育園、幼稚園での歯科健診、保健指導、健康教育	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	○	○	○	○	○	◎	施設毎の保健指導の実施
よい歯の表彰『健口大賞』	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	○	○	○	○	○	◎	

【その他の課題・問題点】
 基本目標1：高齢者の次損歯数が多い(80歳で平均14本)ことによる咀嚼機能の低下で、カロリーオーバーの栄養不足となる。また、認知症も増加する。
 社会性/心のフレイル期→オーラルフレイル(未着面のフレイル期)⇒身体面のフレイル期となり要介護(要介護となる最も多いケース)
 防正するには成人期(20代~50代)の虫歯・歯周病の予防対策が必要で、高齢者の次損歯数を減少させる必要がある。健康寿命の延伸につながる。(定期歯科健診者数の増加)
 ※フレイルとは、『虚弱』の意味で、健康と要介護の間で可逆型である。

平成30年度 食育に関する取り組み一覧

★調査方法★ (1) 主に対象となる目標1項目に◎ (2) その他に対象になる項目には○ (複数回答可)

【報告者名】 小牧市私立幼稚園連合協議会 山口 美穂

【E-mail】

事業名	対象年代			基本目標1 食を通して郷やがなを食をつくらう			基本目標2 食を通して郷なかに食を育てよう			基本目標3 食を通して健康にやさしい生活をしよう			基本目標4 食養を広めよう		今後の課題・問題点	
	園	小 中 校 生	一 般 市 民	毎月 加日	思 つ 分	目 の 分	食 の 分	食 の 分	食 の 分	食 の 分	食 の 分	食 の 分	食 の 分	食 の 分		
さつまいも、たまねぎ、だいこん、にんじん、じゃがいもの栽培・収穫	○			○												
遊戯「マスケット」「野菜システム」の踊りを楽しむ	○			○												
食育の絵本、紙しばいをみる	○			○												
野菜作りについて専門の方からお話を聞く	○			○												
園だよりに食育のコーナーを作る	○ (保護者)			○	○									◎	◎	保護者の意見も聞く
【その他の課題・問題点】																

平成30年度 食育に関する取り組み一覧

★調査方法★ (1) 主に対象となる目標1項目に◎ (2) その他に対象になる項目には○ (複数回答可)

【報告者名】 愛知県食品衛生協会小牧支部 副支部長 高橋 美喜雄

【E-mail】

事業名	対象年代			基本目標1 食を通じて健やかな身体をつくる			基本目標2 食を通じて豊かな心を育む		基本目標3 食を通じて環境にやさしい生活をしよう		基本目標4 食育を広めよう		今後の課題・問題点	
	園児	小中学生	一般市民	毎日の食生活を 加食	いまと男の子の食生活が 増加	自分の適正体重を知 っている人の増加	よく噛んで味わって食 べる人の増加	食事が楽しいと回 答する人の増加	「いただきます」「ごち そうござりまする」などの 挨拶が年1回以上 実施している人の増加	地元産の食材を購 入している人の増加	食事の食べ残しを 減らした人の増加	自分で食べる野菜を 増やしている人の増加		「食育」を知 っている人の増加
食品営業者の自主管理体制づくりのための再講習会												◎	○	
食中毒防止の広報、量販店店頭での啓発活動			○									◎	○	
食育推進協力店の推進講習会の開催、パンフレット配布			○									◎	○	食育推進協力店の登録件数の増加
食品営業関係従事者の検便・食品の細菌検査			○									◎	○	情報提供ができるようにする
食品営業許可所得への養成講習会			○									◎	○	
行政・指導員の食品営業施設への定期巡回指導												◎	○	
食品衛生指導員の大手工場見学												◎	○	
食品衛生指導員への行政の専門講師による勉強会開催												◎	○	

【その他の課題・問題点】

平成30年度 食育に関する取り組み一覧

★調査方法★ (1) 主に対象となる目標1項目に◎ (2) その他に対象になる項目には○ (複数回答可)

【報告者名】 小久保 直好

【E-mail】 mogmogland2008@yahoo.co.jp

事業名	対象年代		基本目標1 食を通じて健やかな身体をつくろう		基本目標2 食を通じて豊かな心を育てよう		基本目標3 食を通じて健康にやさしい生活をしよう		基本目標4 食育を広めよう		今後の課題・問題点
	園児	小中学生	増加分 母の日 お祝い 食生活 がよいと 思われる 人の食生活 がよくなる こと	自分 の食生活 がよくなる こと	自分 の食生活 がよくなる こと	食生活 がよくなる こと	食生活 がよくなる こと	食生活 がよくなる こと	食生活 がよくなる こと	食生活 がよくなる こと	
こまき子ども食堂	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	子どもの次食と居場所づくりとしては回数と開催場所がもっと必要と思われる
手作り味噌講習会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ぶらむはうすでの食育啓発	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	野菜1日350gなどの啓発媒体を店内に置く
食育推進協力の登録	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ヘルシーメニューの掲示で栄養表示が可能な食育推進協力店に登録された
こまきヘルシーメニューの推進	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	ヘルシーメニューの継続及び新メニューの開発

【その他の課題・問題点】

平成30年度 食育に関する取り組み一覧

★調査方法★ (1) 主に対象となる目標1項目に◎ (2) その他に対象になる項目には○ (複数回答可)

報告者名 愛知県尾張農林水産事務所 【E-mail】 tomoko_kozawa@pref.aichi.lg.jp	対象年代	基本目標1 食を通じて食の知識をつくらう		基本目標2 食を通じて豊かな心を育てよう		基本目標3 食を通じて環境にやさしい生活しよう		基本目標4 食育を広めよう		今後の課題・問題点
		園 児	小 中 校 生	一般 市民	親 子 の 食 育 の 関 心 を 高 め る こ と を 促 す こ と	目 的 の 理 解 を 深 め る こ と	食 育 の 関 心 を 高 め る こ と	食 育 の 関 心 を 高 め る こ と	食 育 の 関 心 を 高 め る こ と	
「あいち食育いきいきレポート」作成 7月 ウェブサイトで公開	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
食育推進ボランティアの登録、情報提供 6月～7月 新規募集	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
地域食育推進ボランティア研修交流会 平成30年9月7日(名古屋)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
「あいち食育いきいきシンポジウム」 11月29日(名古屋)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
野菜の摂取量向上のための料理講習会の開 催 平成31年1月25日(名古屋) 平成31年2月5日(刈谷)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	平成30年11月未現在登録者数 1,134名 (内、尾張地域 241名、うち小牧市5名)
食育制「食まるファイブ」上流の支援(小 学校等への資材貸与、シナリオ提供) 平成30年度14校	○	○	○	○	○	○	○	○	○	<あいち食育いきいきプラン2020目標> 成人一日当たりの野菜摂取量 350g以上 (H32) (265g (H26) ⇒目標値)
ウェブページ「食育ネットあいち」の充実 (随時)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	<あいち食育いきいきプラン2020目標> 朝食に野菜を食べている小中学生の割合 小学生(第5学年) 80%以上 (H32) (64.1% (H27) ⇒目標値)
小学生の農林漁業体験学習の推進(「学校 での農林漁業体験学習に係る地域協力者一 覧」配布)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	<あいち食育いきいきプラン2020目標> 豊林漁業体験学習に取り組み小学校の割合 (40.5% (H27) ⇒目標値 45%以上 (H32))
いいともあいち運動の推進 平成31年2月15日(いよいよあいち地域サ ロン交流会(瀬戸市))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	<あいち食育いきいきプラン2020目標> 「いいともあいち運動」を知っている人の割合 (19.6% (H27) ⇒目標値 25%以上 (H33))

【その他の課題・問題点】